

学びの手引き

きたえ やいぬき まなびあう

基山っ子の育成

< 保存版 >



基山町立基山小学校

基山町立 基山小学校

か て い が く し ゅ う こ こ ろ え
家庭学習の心得

家での学習をはじめる前に・・・

さあ、学習をはじめましょう！

1. 今日^{きょう}のしゅくだい^{たし}を確かめましょう。
2. まず、学校^{がっこう}のしゅくだいからやりましょう。
3. きまった時間^{じかん}、きまった場所^{ばしょ}でがんばりましょう。
4. 自分の力^{じぶん ちから}でがんばって、どうしてもわからない
とき^{とき}は、おうちのひと^{ひと}にき^ききましょう。
5. 今日^{きょう}のしゅくだいが、全部^{ぜんぶ}終わったか確かめ^{たし}て
明日^{あした}の時間^{じかん}わりのじゅんびをしましょう。

保護者の皆様へ

家庭と学校の連携で学ぶ力を育みましょう。

学力を向上させることは学校教育の重要な役割ですが、家庭の関わり方によってその効果は大きく変わります。発達段階に応じた、学校での学習指導と家庭学習の相乗効果で、より効果的に子どもたちの学力を育てていきたいと考えています。

基山小学校では、学習のしつけをきちんと身に付けさせるために、「学びの手引き」をリニューアルしました。どうぞ参考にさせていただき、家庭でのよりよい生活習慣・学習習慣の定着に生かしていただきたいと思います。家庭と学校が連携して、子どもたちの自ら進んで学ぶ力を育てていきましょう。

学力の向上につながる3つの習慣

1. 基本的な生活習慣を身に付けさせましょう。

- 早寝・早起きと朝ごはんを食べる習慣をつける。
- 気持ちのよいあいさつや返事、正しい言葉遣いができる。
- 進んでお手伝いをする。
- テレビ（ゲーム）の視聴時間を決め、きちんと守る。



2. 家庭での学習習慣を身に付けさせましょう。

- 決まった場所で一定の時間勉強する。
- 宿題と自主学習に取り組む。
- テレビや音楽を消して集中できる環境を作る。

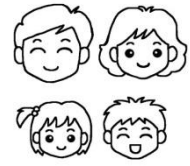


3. 読書の習慣を身に付けさせましょう。

- 学校や地域の図書館に進んで通って読む。
- いろいろなジャンルの本に親しむ。
- 親子で読んだり、感想を話したりする。



家庭学習における保護者の役割



○家庭学習の習慣化は、基本的な生活習慣の確立から

家庭は、安らぎの場であるのはもちろんですが、自分を伸ばす学びの場でもあります。そこで、家庭でも学習する習慣をしっかりと身に付けてもらいたいと思います。「早寝・早起き・朝ごはん」の良い習慣は、生活のリズムを整え、好ましい学習習慣にもつながります。ゲームやテレビの時間が長かったり、夜更かししたりすると、睡眠時間が十分とれず、次の日の学校での学習にもやる気が出ない、集中できないなど、悪い影響が出てしまいます。家庭学習の習慣化を図るために、まず基本的な生活習慣の確立を行っていきましょう。

○学習時間の確保と集中できる環境づくりを

保護者の方もお仕事で、児童も塾や習い事などで忙しいと思いますが、短い時間でも「必ず机に向かう習慣」を身に付けさせましょう。お子さまと勉強を始める時刻を決め、時間を設定してください。自分から学習にむかう姿勢ができるまで、「何時からは勉強ね。」と声をかけてあげて下さい。

また、学習中にテレビがついていたり、ゲームの音が聞こえていたりすると、集中できず、効果は上がりません。お子さまが集中し、落ち着いて学習に取り組むことができるような環境づくりに協力してあげて下さい。

○「声かけ・見届け・励まし」で、やる気を高めよう

できるだけお子さまのそばについて学習したことに目を通し、声かけをしましょう。ほめたり励ましたりすることで、やる気が出て、学習することが楽しくなっていきます。間違えたり分からなかったりするときは、怒るのではなく、教科書やノートを見て一緒に考えてあげたり、アドバイスをしてあげたりしましょう。

○読書は、見えない学力を伸ばします

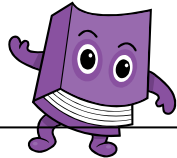
読書は、語彙や知識を増やし、想像力を豊かにし、文章の理解力・表現力を伸ばします。さらに心も成長させてくれます。お子さまに読書の習慣をぜひ身に付けさせてください。そのために、①音読を聞いてあげる。②読み聞かせをする。③一緒に読書する。④面白い本を教える。⑤本屋や図書館に連れていくなどやってみましょう。

小学校1・2年生

めあて 基本的な学習習慣を身に付ける。

こんな時期

- 基本的な生活習慣とともに家庭学習を習慣づけるリズムをつくる時期です。これからの学習の土台を作る大切な時期です。
- 一人で学習の内容や方法を決めることは難しいです。家族の協力が必要です。「よくできたね。」「すごいね。」などほめることで、ぐんと意欲がでます。
- いろんなことに興味・関心を持ち、なんでも知りたがります。たくさん話をしましょう。大人が、お手本となるような「学ぶ」姿勢を見せましょう。



学習のメニュー

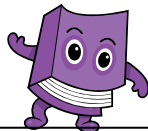
- 【国語】読む ・本を大きな声で、すらすら読めるように、毎日練習しましょう。
・「、」や「。」に気をつけてはっきり読みましょう。
- 書く ・ひらがな、かたかな、漢字を、正しく書けるように練習しましょう。
・教科書の文を、正しく写しましょう。
・「～は」「～を」「～へ」を正しく使って、作文や日記を書きましょう。
- 漢字 ・正しく読んだり書いたりできるように、筆順にも気をつけて練習しましょう。(1年生 80文字 2年生 160文字)
- 読書 ・目標冊数 100冊
・おうちの人から読んでもらったり、おうちの人と一緒に読んだり、おうちの人に読んであげたりしましょう。
- 【算数】計算 ・教科書やプリント、ドリルなどの問題が、正しく計算できるように練習しましょう。慣れてきたら少しずつスピードをあげてやってみましょう。
・間違った問題は、必ずやり直して、計算の手順をしっかりと覚えましょう。
・手順を言いながら計算をするのもよいでしょう。
- 【調べ学習】 ・図鑑や本を見たり、実際に観察したりしたことを、絵や文でまとめてみましょう。
- 【日記】 ・1日のできごとや心に残ったことを順序よく書いてみましょう。

小学校3・4年生

めあて 自分で学習におかう習慣を身に付ける。

こんな時期

- 好奇心が旺盛になり、自立心が芽生えてきて、自分でやろうとすることが多くなります。問題解決能力の発達にともなって、学習にも意欲をもつ時期です。自分でできることは、自分でさせるようにしていくことが大切です。
- まだまだ大人の手助けは必要です。子どもの「やる気」を見逃さないようにして、ほめたり励ましたりして、意欲を引き出していきましょう。
- 時間を意識させ、けじめをつけさせることは、自律心や学習への集中力を高めることにつながります。特に、テレビやゲームの時間を家族で話し合いながら決めて、自分で守らせるようにしましょう。



学習のメニュー

- 【国語】 読む ・本を声に出して、すらすら読めるように練習しましょう。(教科書の学習)
・「、」や「。」に気をつけて、気持ちをこめて読みましょう。
・詩やことわざなどを、暗唱しましょう。
- 書く ・会話文やたとえを使って、自分の考えや気持ちを作文や日記に書きましょう。
・意味のわからない言葉を国語辞典などで調べましょう。そして、その言葉を使って短い文を書いてみましょう。
- 漢字 ・正しく読んだり書いたりできるように、送りがなにも気をつけて練習しましょう。
(3年生 200文字 4年生 202文字)
- 読書 ・おうちの人や学校からのおすすめの本を読みましょう。(目標冊数 100冊)
・おうちの人といっしょに読んだり、お家の人に聞いてもらったりしましょう。
- 【算数】 計算 ・教科書やドリル・プリントの問題を正しくできるようにしましょう。
・計算の手順をしっかりと覚え、なるべく速く計算できるように練習しましょう。
・テストやプリント・ドリルの間違いは、必ずやり直しをして、正しい答えややり方を覚えましょう。
- 図形 ・図形の名前や特ちょうを覚えましょう。
・三角定規や分度器、コンパスが正しく使えるように練習しましょう。
- 【社会】 ・授業で習った勉強や地域や佐賀県について調べたことをノートにまとめましょう。
・地図記号や地図のきまりを覚えて地図の見方に慣れましょう。
- 【理科】 ・実験や観察の仕方やわかったこと、授業中の先生の話や自分が考えたことなどをノートにまとめましょう。
・新しく出てきた言葉や道具の名前などをしっかりと覚えましょう。
・授業で習った内容や関連することを、事典・図かんやインターネットで調べてまとめましょう。

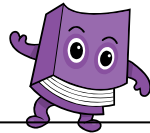
小学校5・6年生

めあて 計画をたて、自力で学習を進める。

こんな時期



- 知的な能力では、抽象的、論理的思考ができるようになる時期です。将来の夢、勉強する目的など、目標を持って努力することの大切さを伝えていきましょう。
- 自立心が強くなり、第2反抗期を迎える時期でもあります。一方的な指示・命令は逆効果な時もあります。目あてを決めて努力できるよう、あたたかく見守りながら励ましましょう。
- 今一度、生活習慣を見直しましょう。生活のリズムは、決まったことを決まった時刻にすることから身に付きます。その日の計画を立て、見通しを持って学習させるようにすることが大切です。



学習のメニュー

- 【国語】 読む** ・本を声に出して、すらすら読めるように練習しましょう。(国語・社会・理科等)
・「,」や「。」に気をつけて、情景や気持ちを考えて読みましょう。
・詩や俳句、短歌、百人一首、古典などを、暗唱しましょう。
・意味のわからない言葉を国語辞典などで、進んで調べましょう。
- 書く** ・構成を考え、自分の考えや気持ちを意見文や感想文、日記などに書きましょう。
・新聞記事を要約したり、体験や調べたことを伝える報告文を書いたりしましょう。
- 漢字** ・正しく読んだり書いたりできるように、筆順や送りがなにも気をつけて練習しましょう。(5年生 193文字 6年生 191文字)
- 読書** ・お家の人や学校からのおすすめの本を読みましょう。(目標冊数 100冊)
・お家の人と一緒に読んだり、お家の人に読んだ本について話したりしましょう。
- 【算数】 計算** ・教科書やドリル・プリントの問題を正しくできるようにしましょう。
・計算の手順をしっかり覚え、なるべく速く計算できるように練習しましょう。
・テストやプリント・ドリルの間違いは、必ずやり直しをして、正しい答えややり方を覚えましょう。
- 図形** ・図形の名前や特ちょう、面積や体積を求める公式などを覚え、それを使って問題が解けるように練習しましょう。
- 【社会】** ・授業で習った勉強(日本の国土や産業、歴史上の人物や政治のしくみ)について、調べたことをノートにまとめましょう。
・都道府県や日本の周りの国々、歴史上の人物やできごとなどを覚えましょう。
- 【理科】** ・実験・観察で分かったことを、生活の中の現象と結びつけながら考察したり、関連することを、事典・図鑑やインターネットで調べてノートにまとめましょう。
・科学的な表現や言葉、実験や観察用具の名前などをしっかり覚えましょう。

学校での学習習慣の確立



学習中の正しい学習習慣が確立できると、学習効果が上がります。
 そのために、学校では、次のような指導を行っています。
 ○学習の5つの約束を決め、授業にのぞむ姿勢を育てています。

学習 5つのやくそく

① **学習用具の準備**をしてから休み時間します。
がくしゅうようぐ じゅんび やすみじかん

- ・ふいばこ（えんぴつ5本以上、赤えんぴつまたは赤ペン、けしゴム1個、ものさし、名前ペン）
- ・教科書
- ・ノート
- ・したじぎ
- ・資料など学習に必要なもの



いらぬものはだ
 持ちてこない。

② **チャイムで席**につきます。
チャイム せき

ノートや教科書をひらいて学習を始める準備をする。

③ **始め・終わりのあいさつや返事**をきちんとします。
はじ お へんじ

④ **正しい座り方**ですわります。（グー・ベタ・ビン）

⑤ **話す相手**を見て聞く。（目と耳と心）



○上手な話し方・聞き方の姿を示し、伝え合う力を育てています。

お え う い あ

わりまで はっきりと

は な し か た め い じ ん



お え う い あ

しまいまで

き き か た め い じ ん



○いすにすわった時の立腰姿勢^{りつようしせい}を身に付けさせています。

頭をあげて、背筋を伸ばすと脳の血流量が多くなり、前頭葉を活性化させます。

立腰し、集中することで、学習に生活に根気強く、物事に向かっていく心身の心構えができます。

「自分の腰を自らの意思で立て立腰の姿勢を保つ」その感覚を覚えさせていくことが大切です。

おなか グー

あしのうらペタ

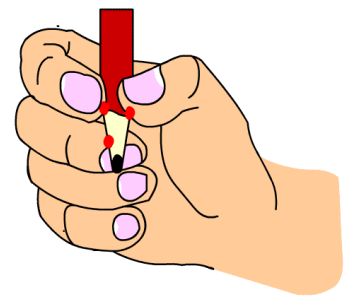
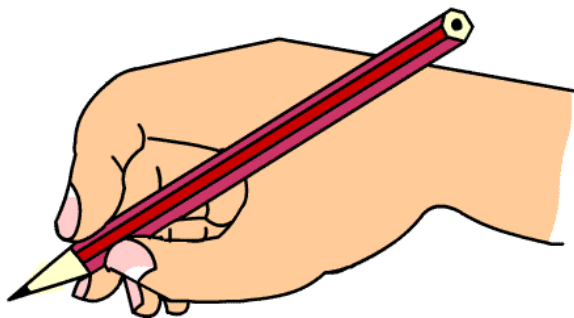
せなか ピン



○正しく鉛筆を持って書く指導をしています。

鉛筆の正しい持ち方を習得すれば、バランスのとれたキレイな字を書くことができます。また、手や肩も疲れにくく、文字を長い時間書くことができます。

親指・人指し指・中指の三点支持



正しく鉛筆を持たせるためのポイント

- ② 手首を机の上につける。
- ② 鉛筆が傾きすぎない、立ちすぎない角度で持つ。
- ③ 鉛筆を持った手は、小さな卵をにぎったような形にする。
- ④ 中指、薬指、小指は軽めに丸める。
- ⑤ 指に力を入れすぎないようにする。
- ⑥ 中指の第1関節で鉛筆を受けるようにする。

○筆箱の中を整理し、必要な時にすぐに使えるよう指導しています。

筆箱の中にそろえておくもの

1・2年	3・4年	5・6年
鉛筆 5本 (Bか2B)	鉛筆 5～6本 (B程度)	鉛筆 5～6本 (BかHB程度)
赤鉛筆	赤・青鉛筆または	赤・青鉛筆または
ネームペン	赤・青ボールペン	赤・青ボールペン
消しゴム・定規	ネームペン	マーカー(2色程度)
	消しゴム・定規	ネームペン
		消しゴム・定規

- ・鉛筆は、毎日家で削って持ってくる。
- ・かざりやアクセサリがなく、シンプルで使いやすいものを持ってくる。
- ・シャープペンシルは、原則として学校では使用しない。
- ・ノートに書く時は、したじきを使う。
- ・筆箱と中のもの、すべてに記名しておく。
- ・学習に不要なものは、入れてこない。



○集中して学習できるように、書く時の姿勢を意識させています。

- ①机と体の間は、にぎりこぶし1つ分程度の間隔をとり、背筋を伸ばして腰かける。そのときに、背もたれにかからないようにする。
- ②足のうらを床につけ、安定させる。
- ③机の上を整頓し、学習しやすいようにする。
- ④きき手でない手でノートをおさえ、ノートから30cmほど目を離して書く。
- ⑤教科書は、ノートの反対側に置く。



家庭学習の時にも取り組み、一層効果を高めていきましょう。